

NEWS

Vol.29

<http://www.jmdp.or.jp/>
<http://www.donorsnet.jp/>

●発行 平成18年(2006)12月4日
 財団法人骨髓移植推進財団

●発行責任者 正岡 徹(理事長)

●編集責任者 木村 成雄(事務局長)

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19 廣瀬第2ビル7F
 Tel 03-5280-8111 / Fax 03-5280-0101

日本骨髓
バンクの
現状
(平成18年9月末現在)

登録者数
26万0533人

移植数
7,738例

CONTENTS

- 2 特集 確認検査マルわかり講座
 確認検査って何をやるの?
 離島からの確認検査はこんなに大変!!
- 8 日本骨髓バンクの現状/提供者のアンケート結果
- 10 トピックス
 10月は骨髓バンク推進月間
 骨髓バンク推進全国大会報告
 スポーツ界のご支援
 ヤフーボランティアにココロとズース壁紙登場
- 12 お知らせ
 中垣内 祐一監督サイン入りグッズプレゼント
 募金のお礼とお願い



堺プレイザーズ
中垣内 祐一監督

昭和42年11月2日生まれ。
 福井県出身。身長193cm。
 筑波大学在学中にバレーボール日本男子ナショナル
 チームへ参加。日本リーグ・新日鐵堺に入り、平成4年
 のバルセロナ五輪で日本6位の立役者となる。多くの
 国際大会に出場し活躍したが、平成16年現役を引退。
 現在Vリーグ・堺プレイザーズ監督に就任。



大阪府堺東献血ルームにて

骨髓バンクの存在は以前から知っていました。CMや新聞などでよく拝見していましたし、患者さんと適合したら、提供するというのも理解しています。以前からドナー登録に興味がありましたが、少しの勇気が出せずにいました。今回、Vリーグの支援に伴い、このような機会を与えていただき、非常に良かったです。実際にドナー登録をして、「人の苦しみを少しでも減らせるんだ」と実感しました。

今まで、たくさんさんのサポーターやスポンサーの協力で活動してきましたが、「自分は何も社会に対して貢献していないのではないのか」という思いがどこかにありました。

Vリーグが今年40周年を迎えることを機に、リーグ開催中、全国各地の試合会場で骨髓バンクのドナー登録を呼びかける活動をするのが決まり、微力ながら堺プレイザーズと共にお手伝いしていくつもりです。これで、自分たちが恩返しをできることになってうれしく思います。この支援をきっかけにファンの方が心を動かされ、次の誰かに広める輪が広まっていくことにより、骨髓バンクを知っていた多くの人が増え、ドナー登録者が増えていけばいいですね。

苦しんでいる患者さんに、軽々しく「頑張ってください」とは言えませんが、必ずドナーが見つかるかと信じて、希望を持ってください。今回登録したことで、私の型が患者さんの誰かと一致するかも知れません。また、私たちがバレーボールで最高のプレーをすることで、元氣付けられたらと思います。一人でも多くの患者さんを助けるために、骨髓バンクを自分の周りからでも広めていきたいです。

INTERVIEW

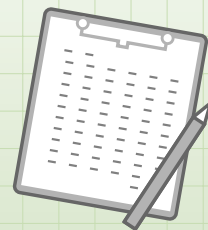
これで一つ良いことができた、いや、これからできるかなと思つてます!

バレーボールの元日本代表で、現在Vリーグ堺プレイザーズの中垣内祐一監督が、先月ドナー登録をしました。Vリーグの骨髓バンク支援がきっかけとなり、社会貢献したいという気持ちから、登録していただきました。登録直後の中垣内監督にお話を伺いました。

適合の通知が来ても慌てないために



確認検査



わかり講座

「患者さんとHLA型が一致しました」という適合の通知が届き
同封の問診票にお答えいただくとコーディネートが始まります。

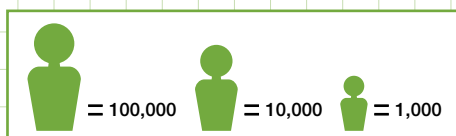
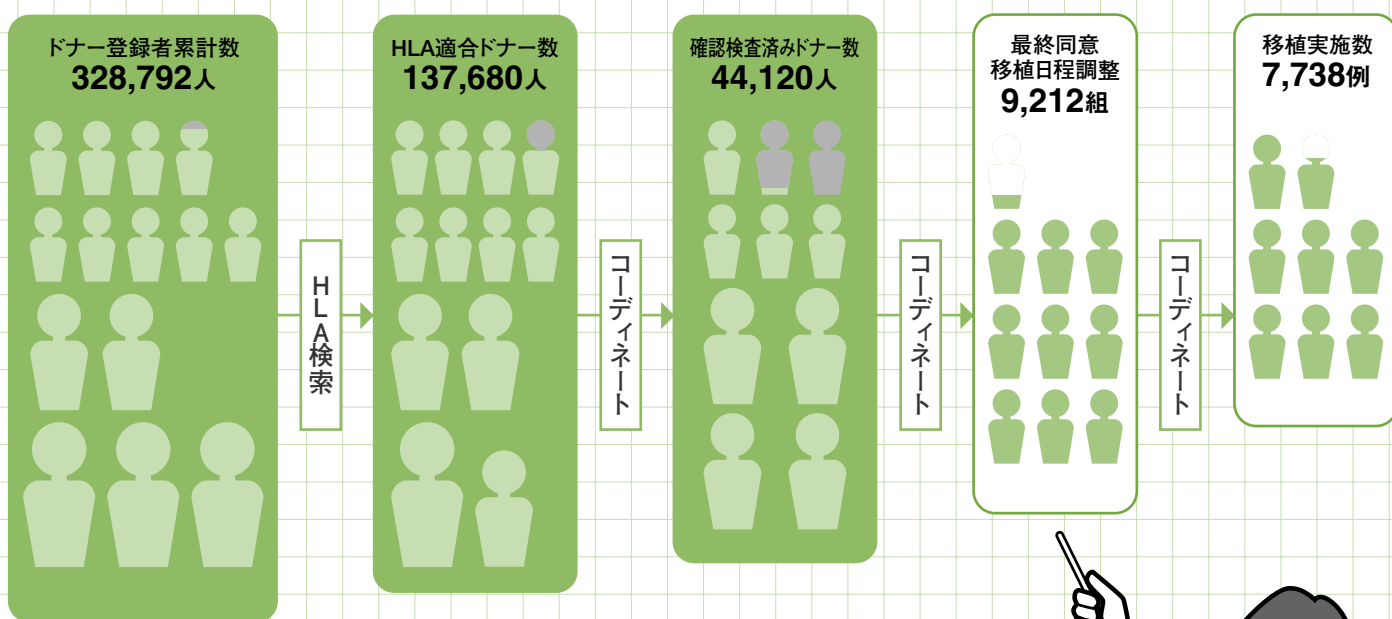
ドナーの皆さまには、その際に確認検査のために病院へ行っていただきます。

今回の特集は、この確認検査です。

「確認検査では何をするの?」という疑問の声にお答えすると共に、
離島に住む2人のドナーさんが検査のために病院へ行くまでの道のりをご紹介します。

患者・骨髄提供者(ドナー)のコーディネート状況

(平成4年から平成18年9月までの累計数)



ドナー登録者累計数は、
約32万人(平成18年9月末現在)となり、
その中で確認検査に進んだドナーは約13.4%、
実際に骨髄を提供したドナーは、
全体の約2.4%となっております。



確認検査って 何をするの？

確認検査は、
移植を希望する患者さんに
最も適合するドナーを選ぶため、
さらにドナーの健康状態の
確認のために行います。



STEP 1

適合通知

患者とHLA型が適合すると、ドナーに書類が届きます。ご説明書、提供意思確認書、問診票、および確認検査を受けるための病院一覧が入っています。その時、来院可能な病院を選べますが、空き状況等の都合があるので、必ずしもご希望に添えるとは限りません。



STEP 2

コーディネート開始

文書を返信すると、担当のコーディネーターから電話で、都合の良い日と希望する病院を伺います。その後、調整をし、確認検査の日程と病院が決定します。検査の前日に、コーディネーターから、もう一度確認の電話があります。



STEP 5

医師の問診・血圧測定と採血

骨髄提供の意思に変わりがない場合は、健康状態などを確認するため、血圧測定と採血をします。



STEP 3

病院へ行く

指定された時間に病院へ行きます。コーディネーターの持っている財団の封筒を目印に、病院の入口付近で待ち合わせします。交通費は、財団が負担します。



STEP 4

コーディネーターの面談

コーディネーターが、ご説明書に添って、提供に関しての詳しい説明を行います。また、提供意思の確認、今後の予定、ご家族のお気持ちも伺います。疑問がある場合は、遠慮なく質問してください。



大変!!

確認検査のできる病院がない離島に住むドナーは、確認検査のために飛行機や船で、遠くの病院へ行っていただく必要があります。



小林 都さん(43歳) 石垣島(沖縄県)在住

那覇に行くために飛行機を利用します。
水産研究所で仕事をしています。

検査の日程も選べたので、仕事の調整もつけられました。那覇の地理に詳しくないので不安でしたが、コーディネーターさんが親切に教えてくれたので、安心しました。飛行機での移動となるので、日帰りできるか心配でしたが、天候にも恵まれ、一日で終わることができました。



1 石垣空港 9:45



歩いて移動し、タラップから飛行機に乗るのは、石垣島ならではです。那覇はもちろん、各都市への便も多く、離島の割には便利なところですよ。

2 那覇空港 11:05



那覇の公共の交通機関は、モノレールとバスがありますが、病院が駅から遠く、時間がないため、タクシーで移動。

START

1 9:45
石垣空港

2 11:05
那覇空港

3 病院 12:00



病院の受付窓口付近で、コーディネーターと待ち合わせ。その後、面談室でコーディネーターから骨髄採取についての詳しい説明と、調整医師の問診・採血があります。

4 検査終了 13:30



採血した後、貧血防止のため少し休んでから帰ります。帰りの飛行機の出発時刻まで余裕があったので、那覇に住む友達とお昼を食べた後、石垣島に戻りました。

3 12:00
病院

4 13:30
面談・検査終了

GOAL

TOTAL

3時間45分
(所要時間)



コーディネーター からの一言

宮里 玲子

空港がない離島のドナーは、飛行機と船を乗り継いで来るので、時間的な調整が難しいです。台風が接近すると、船が出港できず、沖縄本島まで来ることができなくなります。そのため、前々日に出て来ていただく場合もありますがいつもご協力くださっています。本当にありがとうございます。

離島からの確認検査はこんなに

Route



高橋 泉さん(43歳) 上崎大島(広島県)在住

広島市内に行くためにフェリーと車を利用します。

専門学校の保健師さんです。

前は確認検査を受けるために病院へ向かっている途中で、中止の連絡が入ったんです。今回は無事に検査ができたのでほっとしました。往復で4時間かかってしまうと、1日をそのために使ってしまうので、確認検査だけは近くにある病院で受けられるといいですね。



1 白水港 9:35



上崎大島には2つの港があり、交互にフェリーが竹原に向かいます。年に数回、台風などの天候不良でフェリーが出ないときもあるそうです。

2 竹原フェリー乗り場 10:00



ここから病院までは交通の便が良くないので、車を利用します。この日は天候不順で、大雨が降っていました。

3 病院 11:40



今回で4回目の確認検査でしたが、コーディネーターからの説明と調整医師の間診・採血は通常通り行なわれました。

4 検査終了 12:40



たまたま同じ病院に入院している知人がいるので、お見舞いに立ち寄りしました。帰りは広島市内で夕飯の買い物をして帰りました。

START

1 9:35
白水港

2 10:00
竹原フェリー
乗り場

3 11:40
病院

4 12:40
面談・検査終了

GOAL

TOTAL

3時間05分
(所要時間)

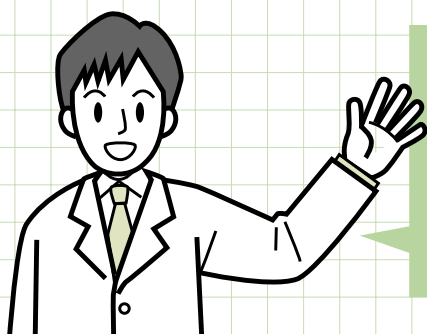


コーディネーター からの一言

菅野 玲子

広島県では比較的日程調整が容易でしたが、確認検査の実施数が増えてきており、ドナーさんのご希望に添えないことがあります。病院によっては、午前中の早い時間帯に来ていただくこともあります。来院に時間がかかる方は、11時すぎに設定し、負担を少しでも減らすような配慮をしています。

コーディネート終了を減らすため、ご協力をお願いします



ちょっとした心がけで、
患者さんが待ち望んで
いる骨髄移植を1件で
も多く成立させること
ができるのです。

コーディネートが進むかチェックリスト

- ☐ 長期間海外に赴任する予定がある
- ☐ 仕事が忙しく、休むことができない
- ☐ 妊娠・出産の予定がある
- ☐ 現在、病気療養中または服薬中である

▶ **A**へ

- ☐ 就職や転勤等で住所が変わった
- ☐ 結婚して名字が変わった

▶ **B**へ

- ☐ 悪性腫瘍（がん）、膠原病（慢性関節リウマチなど）等の病気を発症した
- ☐ アレルギーがある方で、食事等により呼吸困難などの症状が出たことがある
- ☐ 椎間板ヘルニアの手術をした

▶ **C**へ

A 登録保留

長期間の海外赴任、ご家族の事情等でしばらく家を空けることができない、妊娠・出産の予定がある方は、ご指定の期間中、ドナー登録保留の手続きをお願いします。指定期間経過後は、保留が解除されます。骨髄提供ができるようになったときは、保留期間中に、お早めに保留解除の手続きをしてください。また、病気療養中や服薬中の方は、ご健康が回復してから解除をお願いします。

B 登録内容の変更

就職や転勤等で引越しをした、結婚して名字が変わった方は、登録内容の変更手続きをお願いします。

C 登録取消

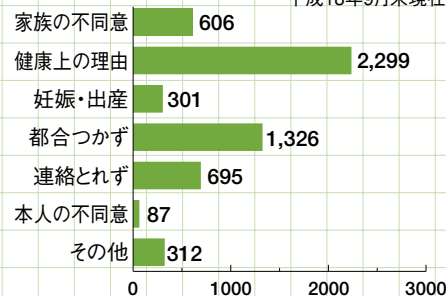
ドナー登録時に、病気療養中または服薬中でない方、輸血を受けたことがない方、椎間板ヘルニアの手術をしたことがない方等の条件を設けています。登録後にこうした状況になられた方は、取り消しの手続きをお願いします。

皆 さまのドナー登録によって、患者さんに生きるチャンスを提供する機会が増えています。しかし、適合通知をお送りすると、2人のうち1人は何らかの理由で、コーディネートが終了になっています。その中で、都合がつかなかったり、連絡がとれないという理由の場合は、事前にご連絡いただくことで、コーディネート終了を未然に防ぐことができます。また、妊娠・出産が判明した時も、すぐにご連絡ください。いつ適合通知が来てもコーディネートを、進めることができるようご協力をお願いします。

コーディネートの終了理由（ドナー側の理由）

平成18年9月末現在

確認検査前
(5,626件)



◀ 手続き方法は次ページをご覧ください。

INTERVIEW

当たり前のことですが、病棟業務があるので、確認検査を請け負うことは大変ですが、聞かれれば、そのとおりです。調整医師は確認検査や最終同意面談に参加するのですが、どうしても1〜2時間かかってしまうので、そのための時間を捻出するのは困難なときもあります。遠くにお住まいの方に限らず、骨髄バンクに登録しているドナーさんには頭が下がります。自分の親や子どものために提供するのはなく、まったく見知らずの患者さんを助けたいという思いで来られるのですから。骨髄提供はドナーさんにとって負担になることも多いですが、患者さんを救うためにご協力をお願いします。



梶梅 輝之先生
広島大学大学院医歯薬学総合研究科
病態情報医科学講座 小児科学

現在、調整医師が不足しているので、一人の医師にかかってくる負担が大きいです。多い時ですと月に4回は確認検査をしています。外来や担当の患者さんも診なければいけませんので大変です。ドナーに医学的な説明、問診、採血をする約一時間半はかかってしまいます。今後は、マニュアルやビデオを使用して、説明の部分はコーディネーターさんをお願いしたいですね。患者さんにとっては、HLAが一致するドナーが骨髄バンクで見つかるのはいいですが、移植までに至るのは難しい道のりです。実際、ある患者さんの場合は、ドナー候補者が確認検査前には120人いましたが、後では半分に減ってしまいました。今後は登録時の適格審査を厳しくし、ドナーへ適切な情報を提供することも必要ではないでしょうか。



百名 伸之先生
沖縄県立南部医療センター
こども医療センター 小児血液腫瘍科

ドナーの皆さまの善意を
確実に患者さんへ届けるために

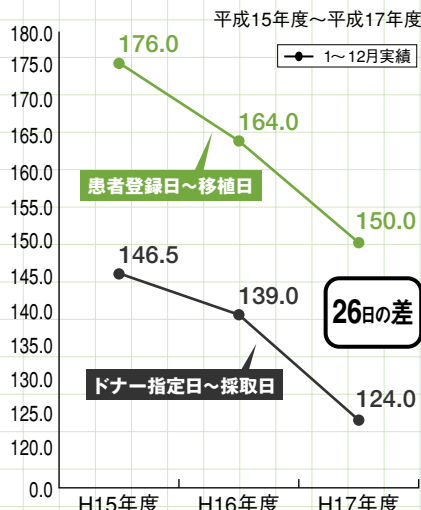
登

録内容が変更になった方、登録の保留・取消を希望される方は、下記の方法で手続きをしていただくと、コーディネイト期間が短縮され、多くの患者さんを救うことができます。患者さんが骨髄バンクに登録してから移植までにかかる日数は150日(中央値)で、ドナーが適合通知を受け取った後からかかる日数は124日(中央値)となっております。

患者さんとドナーのコーディネイト期間に、26日の差があります。この中には、適合するドナーが見つからず、待っている方もいらっしゃいますが、適合通知をお送りした段階でコーディネイトが進められず、時間がかかってしまっている場合があります。

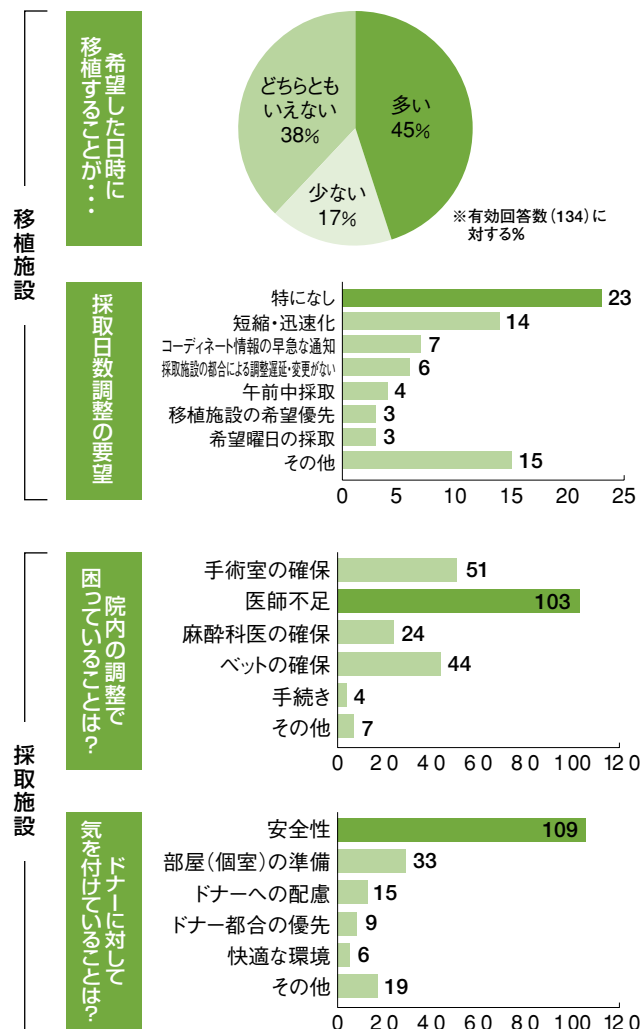
健康上の理由や都合がつかず、コーディネイト終了になったり、住所変更の確認のために時間がかかると、患者さんに移植できる期間が延びてしまうのです。前ページであげた条件に該当するドナーの方は、必ず登録変更の手続きをお願いいたします。

コーディネイト期間の中央値の推移



移植・採取施設のアンケート結果

骨髄採取の「3泊4日入院ルポ」を前号で特集しましたが、その後、病院にアンケートを実施させていただきました。下記に集計した結果をご報告いたします。



このアンケート結果、移植医師は、迅速で簡略なコーディネイトを望んでいる一方、採取医は、医師不足による負担が大きいことが分かりました。手術室確保が難しいこと、麻酔医師の不足、またドナーの安全性や日程調整の配慮等の負担が重くのしかかっています。

登録内容変更手続きは簡単にできます

中央骨髄データセンターのホームページから

バンクニュースの宛名に記載しているアクセスコードと生年月日、メールアドレス(変更専用ホームページのアドレスが返信されてきます)を入力し、ログインします。返信メールの変更専用ホームページで、「ワンタイムパスワード(返信メールに記載されています)」と生年月日を入力すると、登録内容変更ページになります。



▶▶▶▶ <http://www.bmdc.jrc.or.jp/>

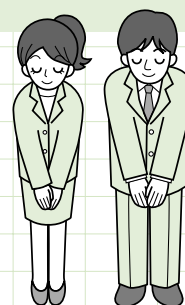
バンクニュース同封のはがきから

はがきに必要事項をご記入の上、ご郵送の場合は、個人情報保護のため、同封の目隠しシールを貼ってお送りください。なお、FAX連絡用紙も兼ねています。投函せずそのままFAX(03-5534-7520)でご連絡いただいても結構です。



アクセスコード

※骨髄移植推進財団にお電話またはメールでお問い合わせいただいても、登録内容変更はできません。当財団ではドナー登録者の個人情報を管理していないため、上記にあるいずれかの方法でお手続きをお願いします。



日本骨髄バンクの現状

平成18年9月末現在

非血縁者間骨髄移植の状況

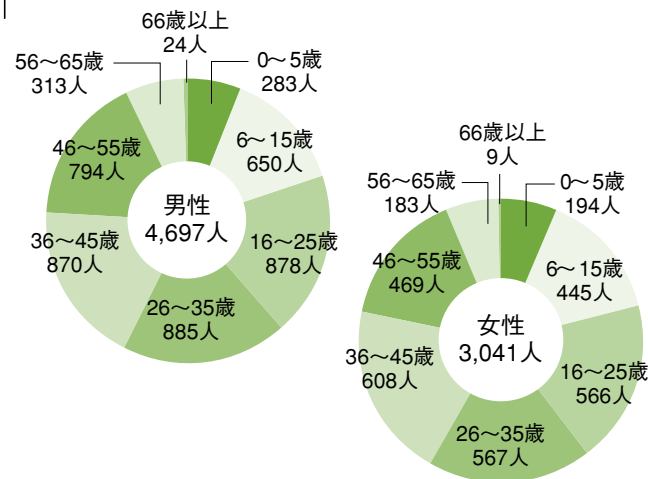
移植患者の状況

7,738人

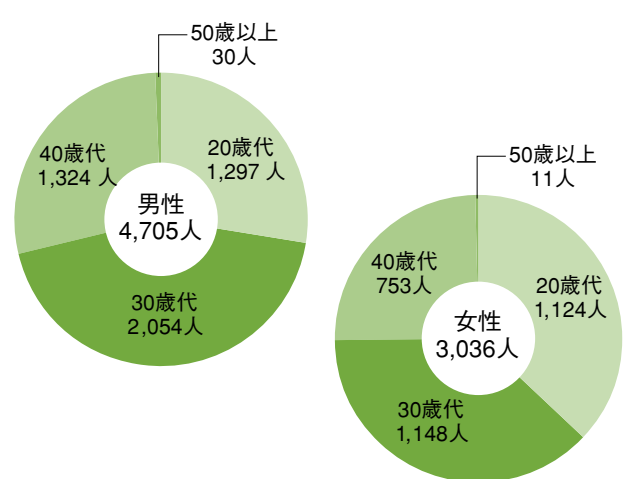
提供者の状況

7,741人

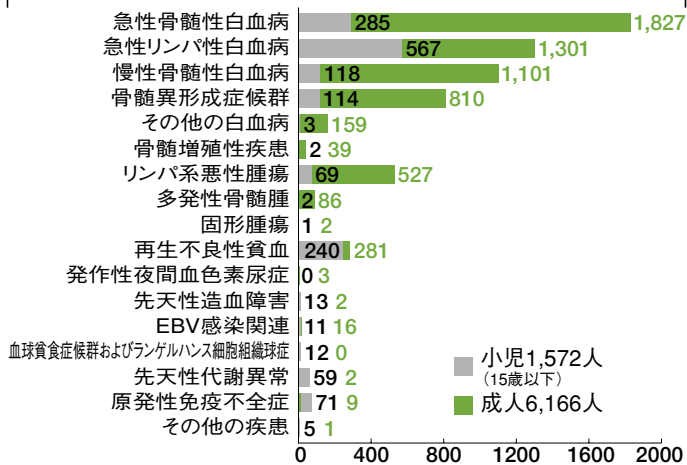
年齢・男女



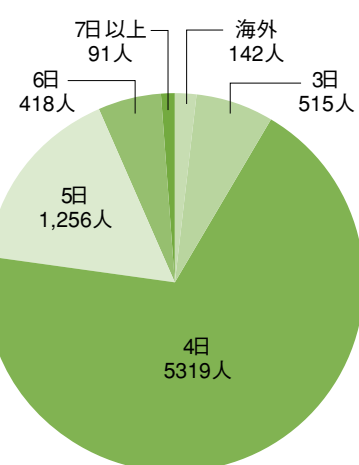
年齢・男女



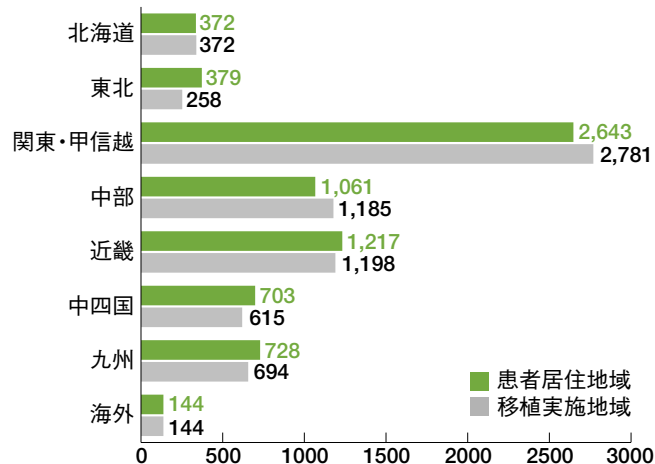
疾患



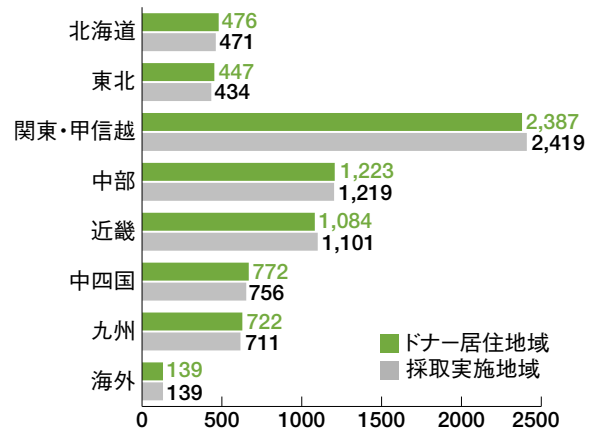
入院日数



居住地および移植実施施設所在地(患者)



居住地および採取実施施設所在地(ドナー)

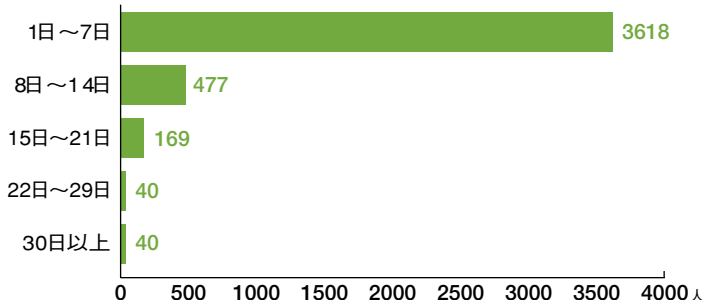


■採取されたものの、移植に利用されなかった骨髄が3件あるため、採取総数は患者総数より「3」多くなっています。

http://www.imdp.or.jp/about_us/genkyou/index.html

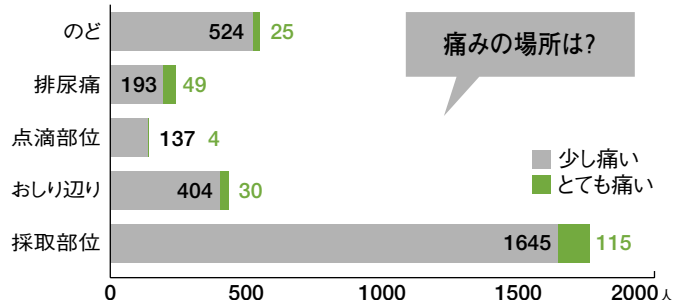
(平成5年1月～平成17年12月末までの集計データ)

4.344件



(平成15年2月～平成17年12月末までの集計データ)

- 2.118件



(平成5年1月～平成17年12月末までの集計データ)

- 5.071件

Response	Percentage
「ない」	92%
すこしある	8%
かなりある	0%
その他・無回答	0%

Response	Percentage
非常にあった	50%
少しあった	49%
まったくなかった	1%
その他・無回答	0%

Response	Percentage
はじめから賛成していた	48%
途中から賛成していた	23%
反対していた	7%
どちらとも言えない	21%
その他・無回答	1%

Response	Percentage
提供する	78%
どちらとも言えない	19%
提供しない	3%
その他・無回答	0%

4年ぐらい前に妻が血液の病気に入院していた時期がありました。適合者が来たときも「断る理由はない。提供のために登録したんでしょ」と快く賛同してくれました。最終同意面談では「私気の経験があり、そのときの私もそう思うが、患者さんも生きているチャンスがあれば、私も生きたい」と思っているはずですから主人の提供に同意します」とれました。その言葉を聞いて、当たり前のように健康な自分では気付かなかった気持ちを感じて涙が出ました。

もし、機会があるのであれば、もちろん提供します。術後健診のとき、お世話した担当の先生にも「また1年後、よろしく願います」とお伝えしたんですよ。

職場復帰してから、周りのみんなに痛みがあったのかと聞かれ、ドナー登録している人も多いので、「痛くなかったよ」と言いたかったのですが、正直なところ痛かったです。でも、患者さんのつらさを考えると、たいしたことないって思えるんですよ。

入院は3泊4日でした。入院を楽しもうと思っていましたが、実際は楽しむ間もなく、退院してしまいましたけどね。提供する前日も緊張はなかったのですが、お腹が空いて眠れませんでした。病院の先生やコーディネーターさんが丁寧に説明してくれたので、不安なことは無かったです。

麻醉から覚めると、病室のベッドでした。数時間経つと、徐々に採取したあたりが重くなってきた。寝返りや起き上がるのと痛みを感じたので、腰にタオルや枕を入れていました。痛み止めは1回だけ飲みましたが、そんなにつらいものではなかったです。2日目ぐらい経つと、痛みより絆創膏を貼った部分がかゆくなってきたので、そっちの方が気になりました。



室賀 隆志さん
東京都在住



10月は骨髄バンク推進月間 多彩なイベントでドナー登録を呼びかけ

推進月間の期間中に骨髄移植推進財団が後援した活動や催しは18件を数え、昨年の8件から倍に増えました。内容も多彩で、登録会や講演会、シンポジウムはもちろん、フラダンス、空手やゴルフ、フットサルといったスポーツ大会などの催しが開催され、たくさんの方にご参加いただきました。

また、推進月間とその前後に4つの舞台が全国各地で上演されました。「Friendship（友情）」はミュージカルとなつて観客に新たな感動を呼びました。会場では募金活動を行い、たくさんのご寄付をいただきました。スクールオブミュージック専

門学校をはじめ滋慶学園の姉妹校の学生による骨髄移植推進キャンペーンミュージカル「明日への扉」は東京、大阪、名古屋、福岡の大ホールを巡演しました。他にも例年通り、多くの行政機関や自治体が広報紙や広報番組で推進月間をPRし、また登録会やイベント、学園祭での広報活動には多くの支援ボランティアの皆さまに参加していただきました。さらに、7月から始まった公共

広告機構のキャンペーン広告の反響も大きく、「骨髄バンク推進月間」のドナー登録者数は4974人にのぼりました。



今年度の普及啓発用ポストカード



「骨髄バンク推進全国大会2006」開催 パイクタワーホールに全国から450人が集う

9月30日（土）、「骨髄バンク推進全国大会2006」が開催されました（於パイクタワーホール）。「世界」の骨髄バンクを目指して、今、私たちができること、のテーマのもと、全国各地より患者・家族の方々をはじめ、ドナー経験者・登録者、ボランティアの方々など、約450名が参加しました。

大会は3部構成で行われ、第1部の式典では、骨髄バンク議員連盟幹事長である衆議院議員の小此木八郎氏よりご挨拶いただきました。また骨髄バンク事業に多大なご支援、ご協力をいただいている株式会社読売巨人軍、JVCエスタテインメント・ネットワークス株式会社、スーパーバンドに感謝状が贈られました。読売巨人軍からは、今年の6月に



感謝状を受け取る上原投手

ドナー登録を行った上原浩治投手が来場し、感謝状が手渡されました。

第2部では、岡村純先生（九州がんセンター臨床研究部長／幹細胞移植センター長）による特別講演と、骨髄採取担当医師、移植担当医師、ドナーさん、患者さんや病院の移植コーディネーター等に参加していただいたパネルディスカッションが行われました。

また第3部では、日頃から骨髄バンクを応援していただいている、ゴスペルアンサンブル（東京スクールオブミュージック専門学校）、東京学館船橋高等学校（千葉県）吹奏楽部、そして骨髄バンク公認ソング「笑顔のゆくえ」でメジャーデビューをはたしたスーパーバンドによるライブステージが繰り広げられました。



全員でスーパーバンドの「笑顔のゆくえ」を合唱



スポーツ界から骨髓バンクへの支援が相次ぐ バレーボール「Vリーグ」の支援も決定

今年は、野球、サッカー、格闘技等、たくさんの方々のスポーツ団体から支援をいただきました。今後は「Vリーグ」の支援も決定し、来年も、スポーツ界からの熱い支援に期待が高まっています。

■Vリーグ 1月～4月「第13回Vリーグ」の 試合会場でドナー登録を呼びかけ

11月の「2006世界バレーボール選手権」でも活躍した日本バレーボールチーム。その日本代表選手たちが所属する実業団チームが、日本一を目指す「Vリーグ」による骨髓バンクへの支援が来年1月から始まります。

男子8チーム、女子10チームが参加し、1月6日から4月15日(男子は4月14日)

まで、全国各地で熱戦が繰り広げられます。第13回Vリーグは日本リーグから数えると40回目という節目の大会で、リーグ中は様々な活動・企画が計画されており、その一環として骨髓バンクへの支援が決まりました。

各試合会場では、ドナー登録の呼びかけを行います。また、ファイナルラウンドが行われるさいたまスーパーアリーナでは、骨髓バンクPRブースを設営し、トークショーやスーパードライのライブも予定されています。

※今号では中垣内監督のインタビューも掲載しておりますので合わせてお読みください。

■読売巨人軍 東京ドームでの31試合で骨髓 バンクPR。「GIBAND」の 収益金を寄付

7月より「助かる命を助けよう」をテーマにご支援していただいています。10月まで東京ドームで行われた全31試合において、骨髓バンクのリーフレット等を配布し、東京ドームやホームページを通じて「GIBAND」を販売しています。

選手がGIBANDを付けて試合に出場した効果もあり、2万個以上販売されました。その収益金は11月23日に行われた読売巨人軍ファン感謝デー「ファン・フェスタ2006」において、球団から骨髓バンクに手渡されました。

また、10月4日に東京ドームと東海大学医学部付属病院(神奈川県伊勢原市)の院内学級がテレビ電話で結ばれ、上原浩治投手が移植を受けた子供たちと楽しく交流しました。NTT東日本の協力を得て、ファンサービスとして行ってきた「プレーヤーズコール」を用いたもので、上原投手が「お互いに目標を持ってがんばりましょう!」とメッセージを送りました。

■K-1

今年は骨髓バンクのポスターに起用された格闘家アンディ・フグ氏の七回忌でした。真駒内アリーナでは追悼イベントがあり、特設ブースを設けてドナー登録の呼びかけと募金活動をいたしました。また、K-1 & HEROESのファン感謝イベントで、須藤元気さん、宮田和幸さん、秋山成勲さんが参加し、1500人のファンの方々と交流しました。アンディ氏の命日ということもあり、選手の皆さまからご提供いただいた商品のチャリティオークションが開催され、収益金を寄付していただきました。



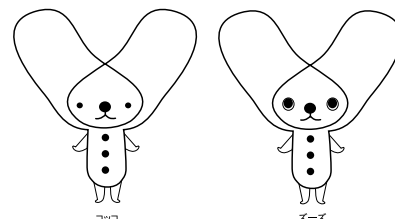
『Yahoo! ボランティア』 インターネット募金に参加! コッコとズーズの壁紙が登場

12月中旬より、「Yahoo! JAPAN」のサイト上から骨髓バンクへのインターネット募金ができるようになります。これに合わせて骨髓バンクの「コッコ」「ズーズ」壁紙が登場します。

インターネット募金とは、「Yahoo! JAPAN」のトップページから「Yahoo! ボランティア」のページに入ってください、「インターネット募金」のサイト上で骨髓バンクの壁紙画像を購入していただくことで、支払った金額の全額が寄付されるものです。

壁紙画像は募金金額に応じて4種類用意されており、募金額に関わらずどれでもダウンロードできます。

骨髓バンクへの募金には「銀行振込」「自動引落寄付」「クレジットカード募金」「骨髓バンク提携クレジットカード」「クリック募金」といった方法が従来からありますが、『Yahoo! ボランティア』のインターネット募金が加わることで、もっと手軽に募金ができるようになります。



コッコ
ズーズ
© Japan Marrow Donor Program. All Rights Reserved.

donorsnet

中垣内監督サイン入りグッズをプレゼント!

<http://www.donorsnet.jp/> (PC・モバイル共通)

骨髄提供した方のインタビューや骨髄バンクに関するQ&Aなどドナー登録者向けのコンテンツも充実しています。是非一度ご覧下さい。

【モバイルサイトはこちら】
バーコード対応携帯でしたら下のバーコードを読みとるだけでURLが表示されます。



メールマガジン申し込み

< 骨髄バンクの情報をいち早くお届けします! >

PCから <http://www.donorsnet.jp/m3/mailmag.html>
にアクセスし、必要事項を記入の上、お申し込み下さい。

携帯から 送り先のメールアドレスに「mag@donorsnet.jp」を入力して、題名も本文も何も入力せずに、そのまま送信ボタンを押してください。その後、送信メールが届きますので、メールに記載されたアドレスにアクセスしてください。

A賞 マスコットミニボール … 2名様

B賞 堺プレイヤーズ スポーツタオル … 1名様

C賞 色紙 … 10名様



応募締切 平成19年1月5日(金)まで

応募方法

【PC】<http://www.donorsnet.jp/news29/>
にアクセスし、必要事項を記入の上、お申し込み下さい。

【携帯】送り先のメールアドレスに **present@donorsnet.jp** を入力し、件名を「プレゼント応募」として必要事項(郵便番号・住所・電話番号・名前・年齢・A賞・B賞・C賞どちらを希望するか)を明記の上、送信して下さい。

※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

募金のお礼とお願い

骨髄バンクの運営は、国庫補助金などの公的資金のほか、患者さんの負担金と皆さまからの寄付によって支えられています。

皆さまの善意をお寄せください

1. 郵便振替

郵便振込用紙で、最寄りの郵便局からお振込みをお願いします。手数料は当財団負担となります。

2. 銀行振込

① ☎0120-377-465までお電話ください。
みずほ銀行本支店間での手数料が無料になる専用振込用紙をお送りします。

② イーバンク銀行
http://www.jmdp.or.jp/reg/help_us/how_to.html
24時間入出金可能なイーバンク銀行をご利用いただけます(手数料無料)。なお、事前に口座の開設が必要です。

3. クレジットカード募金

① お電話で
ご使用になるカードをお手元にご用意のうえ、☎0120-377-465までお名前・ご住所・電話番号・カード番号・カードの有効期限・ご寄付の金額をお知らせください。

② インターネットから
http://www.jmdp.or.jp/reg/help_us/how_to.html
NTTコミュニケーションズの電子決済サービス「CoDenペイメント」を使用したインターネットの決済サービスです。お申し込みいただいた金額をご使用のカード会社の規約に従って、通常のカードご利用と同様に口座から振り替えさせていただきます。

NEW 預金口座振替依頼書による
自動払込利用が可能になりました。詳細は☎0120-377-465までお電話ください。
(インターネットからご覧いただくこともできます。)

骨髄バンク提携クレジットカードのご案内

クレジットカードによるお支払額の0.5%が骨髄バンクに寄付される骨髄バンクサポーターカード。寄付金なしの一般会員と、年会費として毎年3,000円を寄付するサポーター会員、毎年1万円を寄付する特別会員があります。骨髄バンクカードには、この3種類のNICOSカードのほか、各VISA付きカードがあります。入会申込書を☎0120-377-465までご請求ください。

なんでも探検隊の隊員を募集します!

なんでも探検隊長のアヤトです。今年は骨髄バンク関連のイベントが非常に多く、嬉しい悲鳴をあげていました。多くのご支援・ご協力に感謝申し上げます。来年も同じく行事が盛りだくさんの予定です。そこで、イベント開催のお手伝いをしていただけるなんでも探検隊の隊員を大・大・大募集します。



隊員の主な任務

- 会場内でのチラシ配布
- イベントのときに配布するチラシのセッティング など

まずは説明会にご参加ください。説明会は平成19年2月～4月ごろ、東京で開催予定です。

説明会参加方法(いずれかの方法でお申し込みください)

【PC】<http://www.donorsnet.jp/nandemo2007/>

【ハガキ】住所、氏名、年齢、職業、連絡が取れる電話番号、メールアドレスをご記入の上、下記の住所までお送りください。

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町3丁目19番地 廣瀬第2ビル7F

骨髄移植推進財団 広報渉外部「説明会参加希望」係

※ご応募は関東在住(東京、千葉、神奈川、埼玉、群馬、栃木、茨城)の方に限ります。

※説明会のお知らせはメールで行なうので、パソコンか携帯のメールアドレスをお持ちの方に限ります。

編集後記

今号の特集では、離島にお住まいのドナーさんにご協力をいただきました。沖縄県の石垣島と広島県の上崎大島に行き、同行取材をしました。病院に行くのに飛行機やフェリーに乗り継ぎ、大変な思いをしているドナーさんが全国にはいるんだ、と実感しました。移動中は、名産物等の雑談に花が咲き、楽しい取材でした。たまたまお二人とも同時期の取材となり、4日間の移動時間は、片道トータルで10時間でした。誰かに私の旅路取材もしてほしかったです。(タ)

お問い合わせ・資料請求は

日本骨髄バンク

☎0120-445-445 <http://www.jmdp.or.jp/>